

2025（R7）年度 サポートセンター事業報告

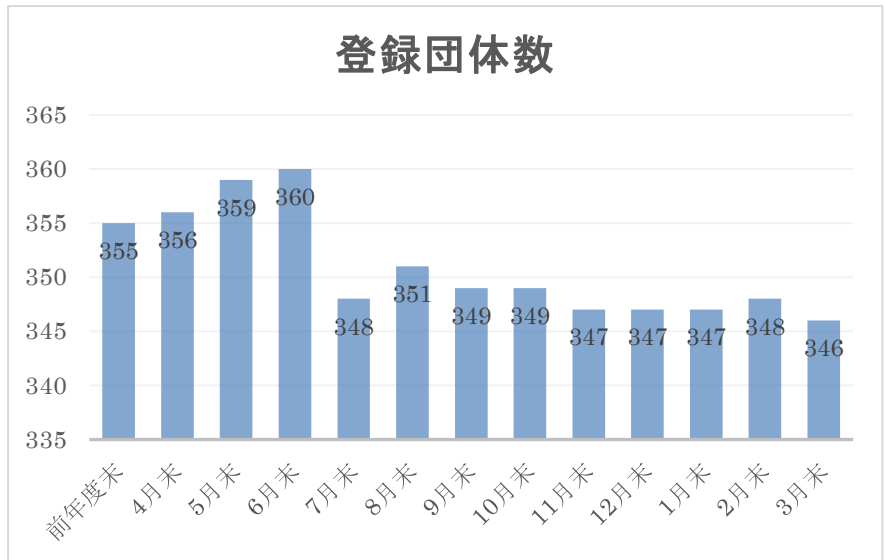
(1) 市民活動等に係る情報の収集および提供に関する事業

①市内活動団体の登録に関する事業

登録団体数

前年度末	355 団体
新規	15 団体
抹消	24 団体
今年度末	346 団体

・団体登録更新作業により、手間と時間をかけて団体の現状を調査。高齢化の団体、連絡が取れない団体の抹消が見られた。



②センター事業の発信

- ・情報紙の発行「さぼせんナウ」年間6回

印刷部数	4月 発行分	1400 部
	6～2月発行分	各 1200 部

発送数（4月）

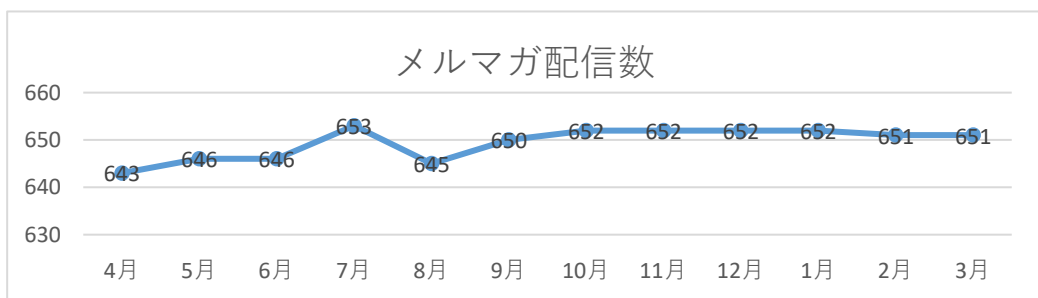
郵送	317 箇所
庁内便	87 箇所
手配り	12 箇所

（6月～2月）

郵送 243 か所（登録団体への郵送を74減らしている）



- ・ホームページによる告知、報告
- ・SNSによるサポートセンター情報の発信
(X, Facebook)
- ・メールマガジンの配信



・ユニコムプラザ地域情報コーナー（すも一体験）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
チェック イン数	14	21	25	19	16	24	27	21	18	19	14	12

③団体の情報発信支援

- ・情報誌のコーナー掲載
- ・情報紙発送時のチラシ同封

発行月	コーナー掲載団体	チラシ同封	
4月	特集につき、ナシ	3	・ちゅうおうくらしネット ・NPO 法人ここずっと ・青い鳥
6月	神奈川骨髄移植を考える会	0	
8月	ボイスインクルーシブ	4	・相模原市コミュニティサイト運営プロジェクト ・NPO 法人ここずっと ・NPO 法人いごこちよか ・NPO 法人さがみはら市民会議
10月	RUN 伴相模原実行委員会	1	・NPO 法人市民ファンドゆめの芽
12月	相模原おもちゃドクターの会	2	・NPO 法人ここずっと ・企業と NPO 交流会実行委員会
2月	Kids Fine	1	・相模原市コミュニティサイト運営プロジェクト

- ・ホームページ内 団体コーナーを設置（団体紹介、情報ページ他）
- ・地域情報紙掲載のアテンド（タウンニュース相模原中央区版）
7月 2団体 ・8月 1団体 ・11月 1団体 合計 4団体

- ・団体活動紹介のパネル展示会開催（市内4ヶ所）

展示会会場	あじさい会館		市役所	ユニコム	ソレイユ
展示期間	6/10～6/19	6/20～6/29	8/5～8/15	10/1～10/31	11/15～11/30
展示数（枚）	15	14	8	20	20
いいねシール	39	132	39	84	60



④その他情報の収集及び助言に関する事業

- ・助成金に関する情報 センター内表示

- ・ボランティア情報誌「つなげよう笑顔」

→ 2,500部 作成

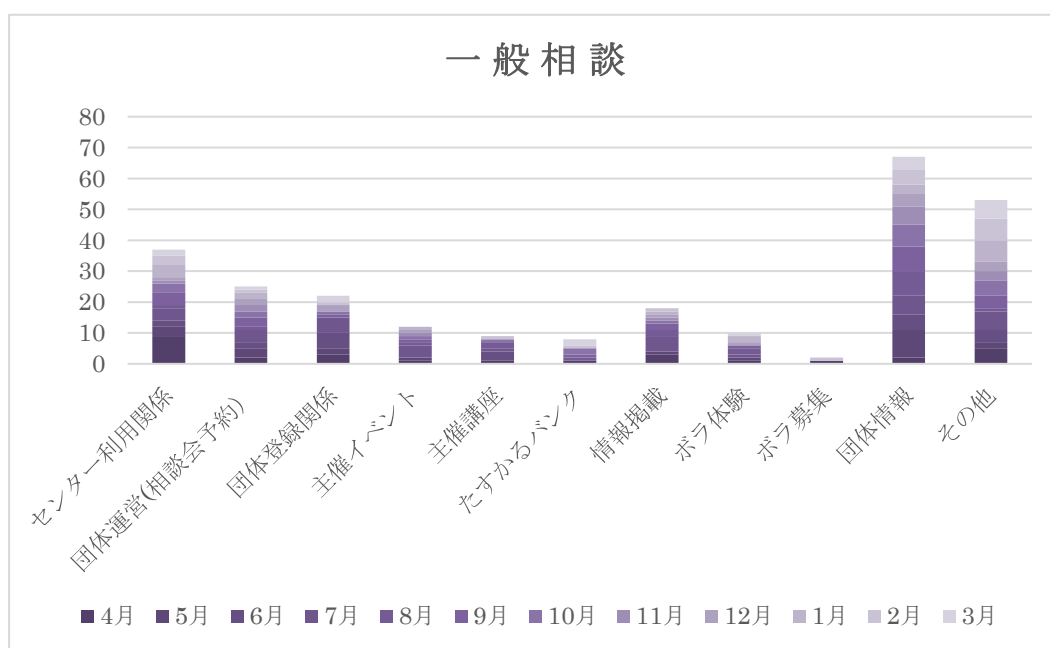
試行中のたすかるバンクシステムを団体として利用した。



(2) 市民活動等に係る相談および助言に関する事業

①団体活動に係るセンター事業のアテンド

一般相談（窓口対応項目）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
センター利用関係	9	3	2	4	1	4	3	1	1	4	3	2	37
団体運営(相談会予約)	2	3	2	4	1	3	2	2	2	2	1	1	25
団体登録関係	3	2	5	5	0	1	1	0	2	0	1	2	22
主催イベント	1	1	0	4	1	1	1	1	1	1	0	0	12
主催講座	1	0	3	1	2	0	1	0	0	0	1	0	9
たすかるバンク	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	2	8
情報掲載	3	1	0	5	2	2	1	1	1	1	1	0	18
ボラ体験	1	1	0	1	2	1	0	0	1	2	0	1	10
ボラ募集	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
団体情報	2	9	5	6	8	8	7	6	4	3	5	4	67
その他	5	2	4	6	1	4	5	3	3	7	7	6	53
継続案件	4	3	14	6	8	10	6	4	5	4	4	5	73
合計	33	25	35	42	27	35	29	18	20	24	25	23	336



②団体及び市民に対して登録団体をアテンド

(3)市民活動等に係る活動の場の提供に関する事業

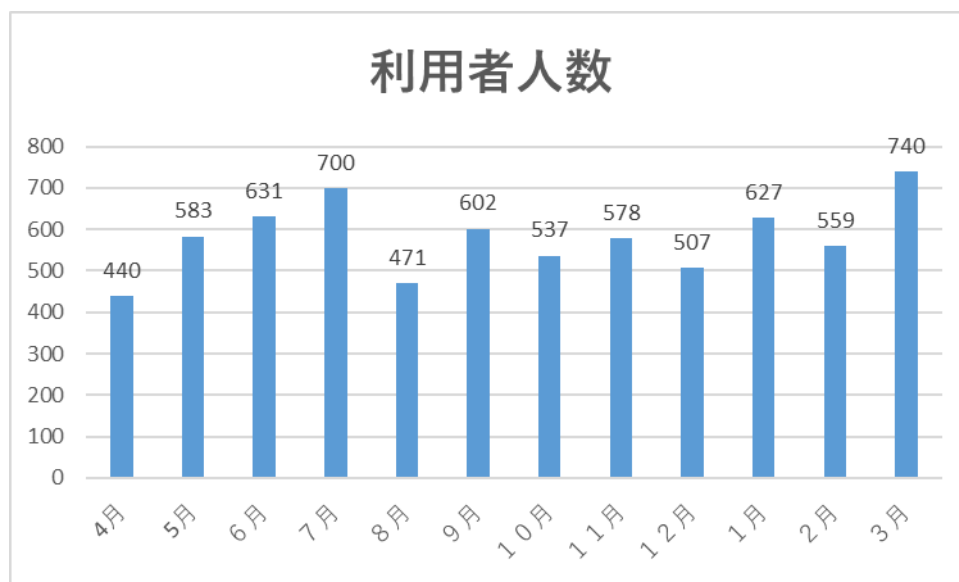
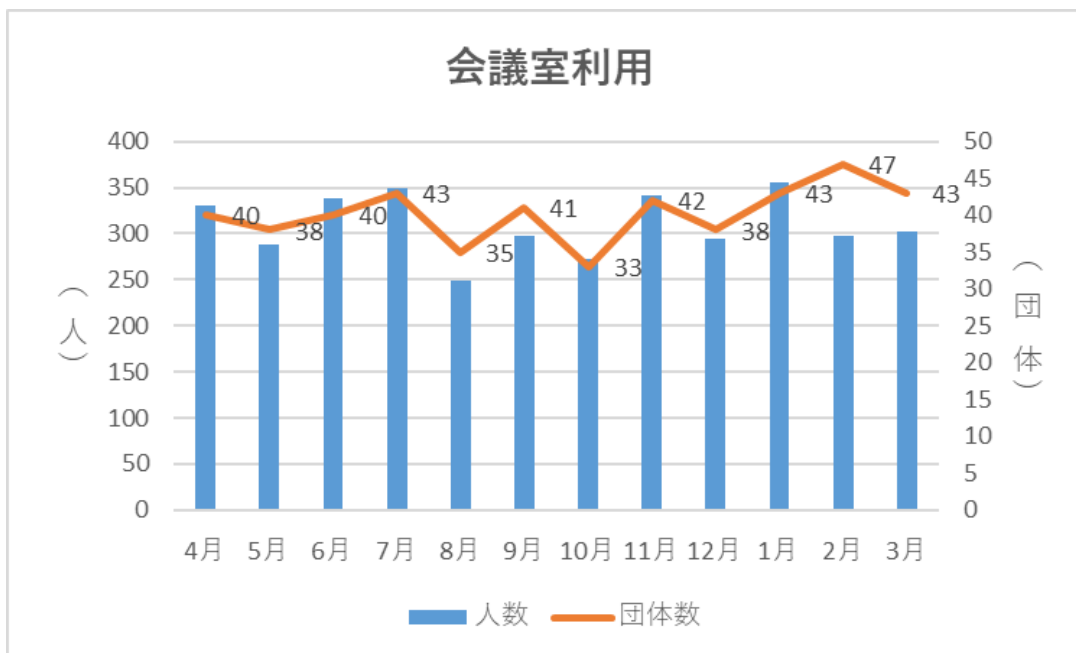
①オープンスペース、作業コーナーの提供

- ・作業機器（複合機、丁合機、紙折り機、ラミネーター）の提供

②登録団体に対する会議室の提供、作業機器の提供

- ・PC、プリンター、ロッカー、レターケースの貸出し

③その他の活動の場の提供に関する事業



会議室は登録団体のみに貸し出しており、年間を通して大きな変化はなかった。団体数と人数の割合をみると、4月から年末まではほぼ同じ割合になっているが、2月3月に関しては1団体で利用する人数が少ないと読み取ることができる。これは社会的にも年度末であることから、仕事を持った会員や学生にとっての会議参加が難しい可能性がある。一方、総会準備における具体的な作業を担当する会員は、少人数作業のために会議室予約をしていることも可能性がある。引き続き、聞き取りを合わせて行う必要がある。

一方、年度末になると全体の利用人数は増加傾向にあることが分かる。複合機を新調し1年が経過しようとしており、口コミや検索により、安価で利用できることが周知されたことが推察される。登録団体以外の予約が入るようになった。

このように複合機利用で未登録の団体には、コピー作業のサポートをしつつ雑談の中で活動内容を聞き取ったり市民活動について話したりすることで登録に興味を持てるよう働きかけたい。

(4)市民活動の活性化に資する学習機会の提供に関する事業

①市民活動の基礎学習会

- ・ ボランティアビギナーズカフェ

ボビカフェ2025	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申込み数	0	2	1	4	2	0	1	0	1	1	2	4	18
出席数	0	1	1	3	2	0	1	0	0	0	2	3	13

基礎学習会に関しては2年間の反省をもとに、次年度は2か月に1回の開催を検討している。さらに、過去のカフェに倣い、テーマを設けた開催回も実施したい。

②市民活動基盤強化講座

- ・ 事業報告書の書き方講座 週末・平日の2回実施を試行したが、大きな変化はなかった

実施日	定員	申込み	定員充足率	出席	出席率
5月24日(土)	15	3	20.0%	2	66.7%
6月28日(火)	15	2	13.3%	2	100.0%

- ・ 資金調達講座 助成団体に話を聞くことで、所属団体の課題が分かった など
申請への考え方を理解した内容の感想が多くあった。

実施日	定員	申込み	定員充足率	出席	出席率
6月20日(金)	15	5	33.3%	5	100.0%

- ・ 法人のしまい方講座 出席者から当該事務作業に至らないよう運営に尽力する などの感想があった。

実施日	定員	申込み	定員充足率	出席	出席率
10月30日(木)	15	2	20.0%	2	100.0%

- ・ 労務講座 経験に基づく具体例で理解しやすかった等、出席者からは高評価であった。

実施日	定員	申込み	定員充足率	事前キャンセル	出席	出席率
10月30日(木)	15	8	53.3%	1	7	100.0%

- ・ 会計講座 基礎知識がないので、ポイントを絞ってほしかったなど、参加者の知識、経験によってさまざまに感じていた様子。今後、初心者向けに学習会を開くなど工夫が必要と思われる。

実施日(土)開催	定員	申込み	定員充足率	出席	出席率
10月18日	15	8	53.3.0%	8	100.0%
11月15日		9	60.0%	7	77.8%
12月6日		9	60.0%	6	66.7%
1月17日		9	60.0%	8	88.9%

基盤強化講座については、定員充足率の最大が60%となっている。団体運営については必要な内容であるが、既存団体にとっては学習済である可能性も否めない。新規登録団体を対象に、メールで周知を図ったり、新しく法人化した団体にアプローチをかけたりするよう行政依頼することも必要と思われる。

③活性化化学習会

・ステップアップ講座「法人化への道」

実施日	会場	定員	申込み	定員充足率	出席	出席率
6/27 (金)	サポセン	1	1	6.7%	1	100.0%
10/29 (水)	ユニコム	15	2	13.3%	1	50.0%
1/22 (木)	緑区	15	2	13.3%	1	50.0%

例年申込みおよび参加が少ない講座であるが、団体運営のために情報として持つておくとい良い内容である。そのため、新規登録団体に対しては、無料で参加できるなどの差別化を検討することも一案かと思われる。

・広報講座

a.三つ折りリーフレット



実施日	定員	申込み	定員充足率	出席	出席率
7月4日(金)	15	7	46.7%	7	100.0%
7月18日(金)				7	100.0%

講師の資料がわかりやすかった、講座の雰囲気がとてもよかったなどの感想が多くあった。講師は講座の要であるため、選定の大切さを痛感した。

b.動画講座

実施日	定員	申込み	定員充足率	事前キャンセル	出席	出席率
9月24日(水)	12	6	50.0%	2	4	100.0%
10月15日(水)					3	75.0%

レンズに興味を持った参加者がおり、新しい分野の話でとの感想を残したうえ、編集ソフト購入も検討した模様。申込者数が課題である。

活性化化学習会については、団体の課題やニーズによって計画ができるため、社会情勢を見つつ、団体とコミュニケーションをとり情報を引き出したうえで内容を検討したい。

④その他学習機会の提供に関する事業

(5) 市民活動団体及び地域活動団体等の運営支援に関する事業

①各区においてボランティア活動相談予約相談会の実施

内容に関しては、設立・企画と会計・経理が主だっており、設立と同時に資金調達相談も含めた相談者が多かった。専門性の高い相談はなかった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サポセン	2	4	4	3			1		5	2	2	2	25
ユニコム	1				1	1				2		2	7
ソレイユ									1				1
電話・メール										1	2		3
合計	3	4	4	3	1	1	1	0	6	5	4	4	36

②その他団体の運営支援に関する事業

(6) 市民活動団体および地域活動団体等の交流機会の提供に関する事業

①センター登録団体と市民との交流として「さがみはら市民活動フェスタ」の開催
事務局および実行委員日程

日 程	イベント名	内 容
前年度利用懇～4月末	実行委員募集	
6月中旬	参加申込書発送 HP上に企画等アップ	・企画概要 ・組織 ・スケジュール ・公園内配置図 ・留意事項
6月下旬	顔合わせ～実行委員会立上げ	・正、副委員長長の承認
7月20日(日) エントリー締切り		
7月下旬	ポスター作成・入稿	・事務局 広報作業
8月5日	公園使用申請書締切り	・添付書類：会場図・出展内容
8月中旬	実行委員会	・参加団体確認、ブース区割り ・生活衛生課からの説明(予定) ・開催当日の連絡・注意事項
8月20日(水)	ポスター送付	・自治会掲示板担当者宛て
9月	広報	自治会掲示板に掲示(9/1) 広報さがみはらに掲載(9/15)
9月上旬	実行委員会	・消防署からの説明(予定) ・最終確認
10月	4日(土)前日準備	・会場準備
10月	5日(日)当日	9:30～14:30(淵野辺公園)
	反省会	・事業報告 ・アンケート集計結果報告
	フェスタ実施報告	サポセンナウ117号掲載



エントリー団体数 ステージ：8団体 ブース：35団体(ステージ兼3団体)

- ・スタッフに実行委員会出席を依頼しなかったため、サポセン内での連携が取れておらず、各スタッフの経験値に頼ってしまった。
- ・ステージ音響を依頼した方との連携が取れず、何をどの程度お知らせする必要があるか不明確であった。

- ・実行委員の発案で、すべての出展団体に役割を担ってもらったが、それぞれが担当任務を果たしてくれたこと、また笑顔で活動してくれたことに感謝の念がわいた。

②センター登録団体を対象とした利用者懇談会の開催

2月15日（日）13：30～16：30

テーマ「異世代・異業種交流を考える」

登壇団体：①NPO 法人 Red Look

②ヒヤクキチ

③ケアラーズカフェ モンステラ

申込み団体 59 団体 80 名

当日出席 52 団体 71 名



出席者アンケートによると、参加目的は団体交流が最も多く、毎年出席していることが次点、事業報告を聞いたかったという理由も比較的多くみられる。良かったと感じたプログラムの選択においてもワークショップが多かったことから、プログラム構成は維持したい。また若い世代の事例発表に励みになるなどの記述も見られたが、基調講演を望む声もあるため、次年度に持ち越し検討する。

③市民活動を広く紹介するイベント等への出展（さがみはら市民まつり ほか）

R7（2025）年4月6日（日）のみ出展

市民活動に関する用語を BINGO 形式で作成

道行く方々に、BINGO 用語に関わる団体をサポートしているセンターと説明したうえでリーフレット、ボランティア情報誌、ペットボトル水を配布。用意した 300 の配布終了後 15 時 30 分撤収した。



前年度同様に配布物を用意し同様に PR ができた。市民活動を考える契機になるようなゲーム（BINGO）もよかった。ゲームについては 2 年続けて実施したため、R8 年度は、別のアプローチも視野に入れることとした。

④その他交流機会の提供に関する事業

・南区懇談会 9月7日（日）14：00～16：00

ユニコムプラザさがみはら 実習室 2

申込 11 名 当日出席 10 名

アンケートにより、情報交換を目的にした参加者が多かったことを鑑み、試行実施の意味があったと考えられる。

企画時点では、主に南区での活動団体を対象にしていたが、個人での申込みも受入れた。これにより、

今後団体を立ち上げたいと考えている参加者にとって、団体の話を直接聞くことができたとの感想もあったため、継続実施の際にも、個人申込みも受入れたい。



(7) その他この事業の目的を達成するために必要な事業

①相模ボラディア（相模原市市民活動中間支援施設連絡会）

令和 7 年度 定例会 9 回実施

10月31日実施（R7、第7回）会議において、国際交流ラウンジおよび相模原市青少年学習センター（子ども若者応援課）はボラディアより脱退することが決定。

「夏休みボランティアチャレンジ」

今年度より対象を大学生（専門学生を含む）まで拡大。
実施日程は中学・高校生の夏休みに合わせ、例年に倣った。

オリエンテーション 7月19日（土）10:00～

あじさい会館 6階 ボランティア活動室

出席者（含予備日） 82名

（中学生32、高校生42、大学生8）

受入れ団体数 45団体（マッチング 35団体）

活動期間 7月28日（月）～8月22日（金）

まとめの会 8月23日（土）10:00～ 市民会館 3階 第1大会議室

大学生は出席規定なし

出席者 50名（中学生19名、高校生 31名）

参加団体 9団体（11名）



今後、相模ボラディアの構成に「ユニコムプラザさがみはら」も検討したく、視察を兼ねてオブザーバーとしての会議参加を検討依頼。

② たすかるバンクの運営と情報発信ツールの見直し

各役割（コーディネーター、依頼団体、参加者）として、どのような経過をたどるかを試行。

第1段階 サポセンスタッフの参加者登録

第2段階 たすかるバンク人材登録者数名に参加や登録依頼

第3段階 過去、たすかるバンクの利用がある登録団体（相模原ダンススポーツ連盟・障がい者新成人の会）にシステムへの登録依頼およびプロジェクト登録依頼

第4段階 サポセンとしてシステムへ団体登録し、プロジェクト登録
外部の参加者とコンタクト（情報発信コーナーにて報告）

③ 実習生およびインターンシップの受入れ

インターンシップ

東海大学政治経済学部政治学科 2年 1名 受入れ：10/27・11/16・24・12/1・7

社会教育実習

田園調布学園大学心理学部 4年 2名 受入れ：10/5 さがみはら市民活動フェスタ

④ ユニコムプラザさがみはらとの連携（「地域づくり大学」への協力）

7月26日（土）地域づくり大学受講者見学（説明は環境情報センターで実施）

以上